

He is a Con-man, and so is Dr. Oz. — 参照シフトと Joke How to Make a Joke with Denotation Shift

片桐 恭弘[†]

Yasuhiro Katagiri

[†] 公立はこだて未来大学

Future University Hakodate

katagiri@fun.ac.jp

概要

Joke communication is an interplay between compositional semantical interpretation and communicative intention recognition. An analysis is presented for the type of jokes with concealed punch lines. Juxtaposition of two parallel domains is shown to play a significant role in applying techniques of indirection, such as implicit reference, denotation shift, and exchange.

キーワード : joke interpretation, communicative intention, juxtaposition

1. はじめに

Joke を形式意味論的に代表される構成的な意味規定と、伝達意図に支持される非自然的意味規定との境界現象と捉え、そのコミュニケーション機構の分析を行う。Joke の中心となる punch line を明示的に発話しない形式の joke に着目し、明示的・非明示的な並置が参照シフトなどの技法の基盤となっていることを示す。

2. 言語コミュニケーションにおける構成的意味と非自然的意味

言語コミュニケーションの成立機序に関しては、言語表現の字義通りの意味を出発点とする立場と、話し手の伝達意図を出発点とする立場とを区別することができる。

言語表現の字義通りの意味を出発点とする考えでは、単語と事物・概念との随意的対応を意味の基本単位とし、単語の系列として構成される文の意味は、それら単語の意味を文の構文構造に従って合成して得られる命題に相当し、さらに平叙文・命令文などの文型によって言語コミュニケーションの中で文の発話の果たす機能が言語内行為として定められるととらえられる。これをここでは構成的意味と呼ぶ。

一方、話し手の伝達意図を出発点とする考えでは、

話し手 S が発話 U によって聞き手 H の心的状態に一定の変化をもたらすという意図を発話 U の意味ととらえる。伝達意図は以下のような自己参照的構造を有する成分から構成される [1].

- S は H が特定の信念や行為意図を持つことを意図する。
- S は H が S のそのような意図を認識することを意図する。
- S は H による意図の認識が H の信念あるいは行為意図形成の理由となることを意図する。

このように伝達意図によって規定される意味をここでは非自然的意味と呼ぶ。

前者の構成的意味の考え方は、形式性の高い基礎付けを有するという利点がある一方で、豊富な言外の意味に依拠する現実の多様で柔軟な言語コミュニケーションを説明するには難点がある。それに対して後者の非自然的意味は、コミュニケーションの目的や結果状態に着目しているという利点がある一方で、言語の持つ規約性を説明するには難点がある。この分裂は、現実の言語コミュニケーションの実践の多くの部分が、bottom-up に規定される言語表現の字義通りの意味と、top-down に存在する話し手がコミュニケーションの中で意図しているゴールとの境界部分で行われているためである。

例えば、嘘では、発話文が字義通りに意味する命題を聞き手の信念とすることが話し手に意図されているが、その命題を話し手自身は偽と信じており、それを聞き手から隠蔽するために話し手は多大な労力を費やす。隠蔽は聞き手を欺き、操作するという悪意に基づく場合もあれば、重病人に対して病名を偽るように善意に基づく場合もある。いずれの場合でも、聞き手が話し手の発話が嘘であることと認識してしまえば嘘は失敗なので、聞き手に偽の命題を信じさせると自分の意図を聞き手が認識することを話し手が意図することはあり得ない。嘘に関しては伝達意図の条件は完全には成立しない。

一方、皮肉では、発話文の字義通りの表現命題 p が偽であることが話し手・聞き手両者に明らかであることが前提とされており、聞き手は話し手が発話に込めた真の意味、多くの場合に発話文の字義通りの表現命題の否定命題 $\neg p$ 、を何らかの方法で計算する必要がある。皮肉を含む Grice の公準違反を介在するコミュニケーション (maxim flouting) では、最終的には隠された真の意味を聞き手に伝えるという話し手の意図が聞き手によって認識され、その認識が理由となって聞き手が真の意味を感得することが意図されており、伝達意図の3条件が成立する。

演技の場合でも、発話文の字義通りの表現命題は明白に偽であることが話し手・聞き手両者に明らかである。その上で話し手と聞き手の間で仮想的な世界の構築が進行する。比喩においても、やはり発話文の字義通りの表現命題は明白に偽であることが話し手・聞き手両者に明らかである、聞き手は比喩に特有の解釈法を適用して話し手の伝えようとしている真の意味を推測する。いずれの場合にも、皮肉と同様に、発話のメッセージに込められた真の意味を聞き手が感得するという話し手意図自体を聞き手が認識することも話し手は意図しており、伝達意図の3条件が成立する。

皮肉では、発話メッセージの真の表現命題 $\neg p$ の伝達に加えて、侮蔑のような話し手が聞き手に対して抱く(多くの場合に)否定的な感情の表現が付随する。この付随的感情表現の方が皮肉発話の主要な目的であって、そのために話し手はわざわざ複雑なコミュニケーション戦略を採用しているとも言える。同様に演技では仮想的世界の構築・展開、比喩では source 領域と target 領域の対比のような副次的効果が随伴する。皮肉において、侮蔑の否定的感情を聞き手に伝えることを話し手が意図したとしても、聞き手がその意図を認識することや、意図の認識が主な理由となって聞き手が話し手の侮蔑感情を感得することまで意図しているとは言い難い。それらの副次的効果にまで伝達意図の3条件が成立するか必ずしも一概には定まらないと考えられる。

3. 構成的意味と非自然的意味の境界としての Joke

Joke も皮肉、演技、比喩などと同じように、言語表現の字義通りの構成的意味と伝達意図に基づく非自然的意味との境界に属するコミュニケーション現象と捉えることができる。Joke の目的は聞き手を笑わせることにある。従って話し手は聞き手を笑わせることを意図して joke を発する。しかし、笑わせるという自分の

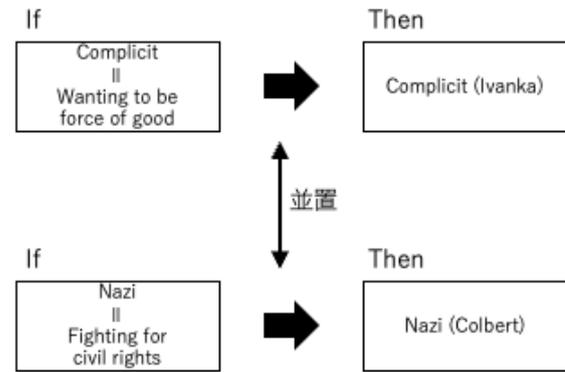


図1 命題構造の並置

意図を聞き手が認識することや、笑わせるという自分の意図の認識によって聞き手が笑うことまで意図しているとは言い難い。Joke はあくまで内容が可笑しいから笑うのであって、わざとらしさ、は押し付けがましさは joke を損なう。

米国の stand up comedy における punch line を明示しない風刺 joke を例として joke のコミュニケーション戦略を観察する。

3.1 並置

例1: Complicit vs. Nazi

米国 CBS の “The Late Show with Stephen Colbert” の中で、ホストの Stephen Colbert が、別の番組 “CBS This Morning” の中でホストの Gayle King による Ivanka Trump のインタビューを見せて次のように発言している [2].

Stephen Colbert:

In fact, this morning, Ivanka Trump appeared on “CBS This Morning,” and Gayle King interviewed her and she asked Ivanka about Ivanka’s responsibility for her father’s policies.

Gayle King:

You hear the phrase complicit, that Jared and Ivanka are complicit in what is happening to the white house. Can you just weigh in on how you feel about that?

Ivanka Trump:

If being complicit is wanting to be a force for good and to make a positive impact, then I’m complicit.

…

Stephen Colbert:

If being a Nazi means fighting for civil rights,
then yeah I'm a huge Nazi.

この例では、Stephen Colbert は最後の発話において先立つ Ivanka Trump の発話との間に図 1 に示すような命題構造間の並置関係を作り出している。Colbert の発話は、「Nazi が人権擁護のために戦う」団体であるというナンセンスな命題に言及した突飛な発言である。しかし、文全体では、その明確に偽であることが誰にも明白なナンセンス命題を前件とする条件命題のため、文全体としては真なる命題を表現している。Colbert の発言は Ivanka の発言との構造的並置関係を通じて、一見するともっともらしいが、そもそも条件部の前件がナンセンスであるということをはっきりと浮かび上がらせている。非自然的意味の伝達意図の 3 条件はそこまで当てはまるだろう。一方で、Joke としてのポイントは、条件文の前件の突飛さ、類比的突飛さによって生まれる新鮮な驚きにあり、そこから生まれる聴衆の笑い自体は伝達意図に含まれないと考えられる。

3.2 間接言及

例 2: Good enough liar

同じく米国 CBS の “The Late Show with Stephen Colbert” の中で、ホストの Stephen Colbert が、米国最高裁が妊娠中絶をめぐる以前の判決 Roe v. Wade を覆す判決を示したことを受けて次のように発言している [3].

Stephen Colbert:

So, if these folks believe that Roe v. Wade so egregiously decided. why didn't they tell the senators that during their confirmation hearings? Well, because American voters support abortion in all or most cases at 80

ここでは図 2 に示すように Colbert は二つの並置関係を設定している。一つは最高裁判事が Roe v. Wade を覆す判決を出すという判断をすることと Colbert が最高裁判事の行動を偽証と判断することの並置関係であり、もう一つは優れた judge と優れた liar との間の並置関係である。保守派の最高裁判事達が上院での指名承認公聴会において妊娠中絶に関する憲法判断については Roe v. Wade 判決を前例として尊重する旨の証言を行っていたにもかかわらず今回それを覆す判断を示したことを指摘して、Colbert はそれは裁判にお

ける偽証に相当するのではないかと指摘をした。さらに優れた judge と優れた liar との並置関係を利用して、better liar than の一方の要素に明示的に言及せず、最高裁判事達がひどい嘘つきであるという批判をしている。

Joke を理解するためには、聴衆はこの入り組んだ構造を読み解いて最終的な批判を理解すること、それが伝達意図とされていることを理解する必要がある。

3.3 参照シフト

例 3: Who is Con Man?

同じく米国 CBS の “The Late Show with Stephen Colbert” の中で、ホストの Stephen Colbert が、米国テレビ界において、怪しげな健康サプリメントの宣伝で著名となった Dr. Oz が上院選挙に立候補し、それに対して Trump 氏が支持を表明したというニュースを受けて次のように発言している [4].

Stephen Colbert:

There's news about former President the douche of hazard over the weekend. He weighed in on the political future of charlatan and cater waiter holding the hors d'oeuvres tray with his penis (junk), Dr. Mehmet Oz. Specifically, the former president endorsed Dr. Oz for the U.S. Senete. Come on. He is a Con man, and so is Dr. Oz.

この事態の流れに従えば “He is a Con-man (彼はペテン師だ)” という発話の自然な解釈は 「Dr. Oz はペテン師だ」となる (図 3 上部分)。ところが次の発話 “So is Dr. Oz.” によって最初の発話の “he” は Dr. Oz ではなかったということが判明する。そこで聴衆は新たな “he” の参照対象の探索を要求される。その結果として参照シフトが起こり、「Trump はペテン師だ」という解釈に行き着く。その過程で、明示的に語られていなかった Trump 氏のさまざまな怪しげな行動と 「Trump はペテン師だ」という結論の結びつきが Dr. Oz に関する解釈推論との並置関係として前景化される。

このように、Joke 解釈の過程で、優先解釈の誘導、優先解釈の否定、代替解釈の探索、代替解釈発見が進行し、その中で並置関係が設定される。そしてその結果として punch line を明示的に発話しない Joke が成立する。そしてそれには、聞き手が、参照シフトというひっかけの仕掛けに気づくこと、仕掛けに引っ掛かって騙されたことに気づくこと、その気づきが共有

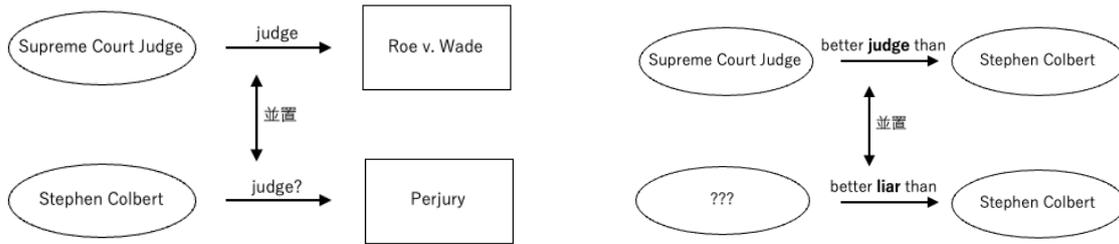


図 2 並置に基づく間接言及

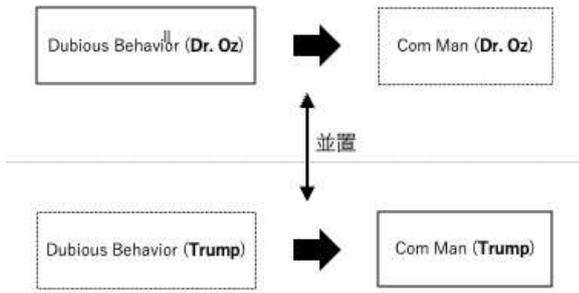


図 3 並置に基づく参照シフト

事実となり、それによって騙しが終了することが関与している。この punch line は明示化されないにもかかわらず伝達意図の 3 条件を満たしている。

例 4: Who is desperate?

米国 CBS の “The Late Late Show with James Corden” の中で、ホストの James Corden が、Donald Trump の Stormy Daniels にまつわるスキャンダルを巡って次のように発言している [5].

James Corden:

There’s more fallout from the Stormy Daniels scandal. As you know, yesterday, she released a sketch of a man she claimed threatened her about her relationship with the president. Well, this morning Donald Trump tweeted : ” A sketch years later about a nonexistent man. A total con job, playing the fake news media for fools, but they know it!” So, Trump calls Stormy’s claim ” A total con job.” I honestly don’t know who to believe in all this – the desperate, money-hungry publicity-hound, or Stormy Daniels.

この例でも前例同様に、事態の流れからは自然な解釈として Stormy Daniels 氏に対して “desperate, money-hungry publicity-hound (金欲しさと売名で夢

中)” という記述が適用されるところに、“or Stormy Daniels” という発話によってその記述が他に当てはまることが示される。新たな対象の探索の結果として、「金欲しさと売名で夢中」という記述の対象として想定されているのは Trump 氏であるという解釈に行き着く。Joke 解釈の過程で聞き手が参照シフトというひっかけに気づくことによって、その解釈の前提とされる Trump 氏の振る舞いが前景化される。ここでも punch line は明示化されないにもかかわらず伝達意図の 3 条件を満たしていると考えられる。

3.4 交換

例 5: House or Hole

米国 CBS の “The Late Show with Stephen Colbert” の中で、ホストの Stephen Colbert が、Washington Post 誌上でレポーターの Josh Dawsey 氏が Trump 大統領の会議内での発言の参加者による聞き間違いの可能性に言及したのを受けて次のように発言している [6].

Stephen Colbert:

What’s the truth, Washington Post reporter Josh Dawsey?

Josh Dawsey:

People said to me over the weekend. There is a semantic difference. Some people in the meeting heard the phrase sh*thouse instead of sh*thole.

Stephen Colbert:

Oh, Oh, well that changes everything. He didn’t say sh*thole, he said sh*thouse. Either way, Trump is being a complete ass house, who, maybe, maybe, just maybe doesn’t belong in the white hole.

ここでは “sh*thole” と “sh*thouse” の混同に基づいて図 4 に示すような並置関係が設定される。さらにその上で hole と house の交換を促すことによって

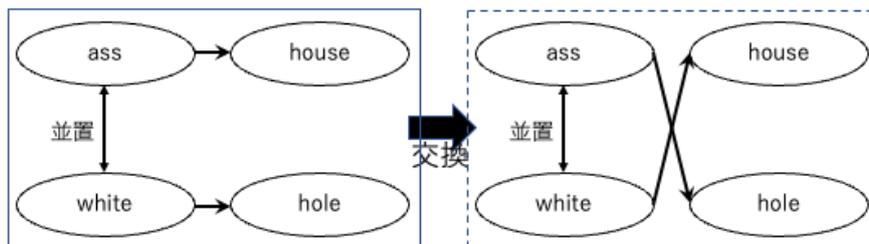


図4 並置に基づく交換

“Trump is an ass hole.”, “Trump doesn’t belong in the white house.” というメッセージを punch line としている。表層表現上での交換という比較的察知の容易な操作ではあるが、joke をつかむためには聞き手は推論によって punch line を導き出す必要がある。

上述した間接言及、参照シフト、交換のいずれの場合でも joke の理解には背景に設定されている並置構造の察知が必要である。そのような間接性が存在するにもかかわらず、punch line の命題を聞き手が復元して理解するという話し手の意図に関しては伝達意図の3条件が成立している。すなわち joke 発話と punch line として設定された命題との間には非自然的意味の関係が成立する。その一方で、joke によって聞き手を笑わせるという話し手の最終的な意図は3条件を満たす伝達意図とはなっていない。

4. おわりに

Joke 発話の意味を構成的意味と非自然的意味の境界に属する現象と位置付けて、punch line を明示的に示さない joke では聞き手が punch line の命題を復元することまでが話し手の伝達意図に含まれるが、聞き手を笑わせるという意図は伝達意図に含まれないという分析を提示した。Joke 発話の字義通りの構成的意味と伝達意図に基づく非自然的意味との間接性を作り出すために、間接言及、参照シフト、交換などの技法が用いられること、そのためには明示的・非明示的な並置が重要な働きを持つことを主張した。

Standup comedy のように演じる joke においては、演者が思わず自らの joke に笑い出してしまう、あるいは joke の言葉を言い損ねてしまうなどの偶発事態が生じて、それが聴衆の笑いをとることもある。Joke 発話には伝達意図の範囲からも逸脱する場合も存在する。

参考文献

[1] Paul Grice. Utterer’s meaning and intentions. In *Studies in the Way of Words*. Harvard University Press,

1989.

- [2] Stephen Colbert. Stephen takes on kendall jenner’s ‘attractive lives matter’ pepsi ad. <https://www.youtube.com/watch?v=qDWMi14quY>, accessed on 15 July, 2022.
- [3] Stephen Colbert. The supreme court doesn’t give a damn what the public wants; how gullible is susan collins? <https://www.youtube.com/watch?v=gJCGAA4VYT8>, accessed on 15 July, 2022.
- [4] Stephen Colbert. Russia defaults on debt, soldiers steal chernobyl souvenirs — don jr.s texts revela coup plan. <https://www.youtube.com/watch?v=zRtiy01yhGw>, accessed on 15 July, 2022.
- [5] James Corden. The president is a police sketch expert now. <https://www.youtube.com/watch?v=h-fBZgIi5Rw>, accessed on 15 July, 2022.
- [6] Stephen Colbert. Did trump say sh*thole or sh*thouse? <https://www.youtube.com/watch?v=3ZSR6xUHF-4>, accessed on 15 July, 2022.